令和5年度の高齢者虐待の状況について（補足資料）

1 養介護施設従事者等による高齢者虐待の状況

(1) 相談・通報・届出件数

相談・通報・届出件数	事実確認調査を行ったもの	虐待と判断したもの	虐待ではないと判断したもの	虐待の判断に至らなかったもの
85件	81件	30件	32件	19件

(2) 虐待と判断した事案の概要

項目 \ 事案	1	2	3	4	5
施設・事業所のサービス種別	有料老人ホーム	有料老人ホーム	有料老人ホーム	有料老人ホーム	有料老人ホーム
被虐待者の状況	70代女性 要介護1	90代女性 要介護3	70代男性 要介護1	70代女性 要介護3	80代女性 要介護4
虐待の種別	身体的虐待	身体的虐待	身体的虐待	介護等放棄 性的虐待	身体的虐待
虐待を行った従事者の職種	施設長	介護職員	介護職員	介護職員	介護職員
市町村が行った措置	施設等に対する指導、改善計画の提出	施設等に対する指導、改善計画の提出	施設等に対する指導、改善計画の提出	施設等に対する指導、改善計画の提出	施設等に対する指導、改善計画の提出
虐待の内容	・施設を抜け出す行動がみられる利用者の居室の外から施錠を行った。	・夜中に大声をあげている利用者の頬を叩いた。	・認知症の利用者の居室の扉の前に丸テーブルを置き、外に出られないようにした。	・失禁し自ら服を脱いでベッドに寝ていた利用者への対応の指示を仰ぐため利用者を撮影した。	・口腔ケア時に外した入れ歯を装着させようとした際、利用者の口を無理に開けた。また、化粧水を利用者の頭から故意にかけた。

項目 \ 事案	6	7	8	9	10
施設・事業所のサービス種別	有料老人ホーム	有料老人ホーム	有料老人ホーム	有料老人ホーム	有料老人ホーム
被虐待者の状況	80代男性 要介護1	90代女性 要介護4	90代女性 要介護2	70代女性 要介護1	80代女性 要支援2
虐待の種別	経済的虐待	介護等放棄	身体的虐待	身体的虐待	心理的虐待
虐待を行った従事者の職種	介護職員	介護職員	介護職員	介護職員	介護職員
市町村が行った措置	施設等に対する指導、改善計画の提出	施設等に対する指導、改善計画の提出	施設等に対する指導、改善計画の提出	施設等に対する指導、改善計画の提出	施設等に対する指導、改善計画の提出
虐待の内容	・必要な支払いの依頼を受け、預かっていた利用者のキャッシュカードの口座から無断で金銭を引き出した。	・頻回に鳴らす利用者のナースコールのスイッチを切った。	・施設のおムツ置き場から直接おムツを取ろうとした利用者との口論になり、利用者を抱えたまま、ベッドに戻し、頬を叩いた。	・コロナ発生により食事は各居室へ提供するようにしていた際に、居室から出て配膳車から食事を取ろうとし、トレイをひっくり返した利用者を引きずるように居室に連れていった。	・利用者に暴言を吐いた。

項目 \ 事案	1 1	1 2	1 3	1 4	1 5
施設・事業所のサービス種別	有料老人ホーム	有料老人ホーム	特別養護老人ホーム	特別養護老人ホーム	特別養護老人ホーム
被虐待者の状況	80代女性 要介護1 70代男性 要介護2 90代女性 要介護5 70代女性 要介護2 80代女性 要介護1	70代女性 要介護2 80代女性 要介護1	90代女性 要介護5 90代女性 要介護5	90代女性 要介護4 90代女性 要介護5 90代女性 要介護5 90代男性 要介護3 70代男性 要介護4 70代男性 要介護4 70代男性 要介護4	90代女性 要介護2
虐待の種別	身体的虐待 介護等放棄 心理的虐待	身体的虐待	介護等放棄	身体的虐待 心理的虐待	身体的虐待 心理的虐待
虐待を行った従事者の職種	施設長 その他特定困難	介護職員	介護職員	介護職員	介護職員
市町村が行った措置	施設等に対する指導、改善計画の提出	施設等に対する指導、改善計画の提出	施設等に対する指導、改善計画の提出	施設等に対する指導、改善計画の提出	施設等に対する指導、改善計画の提出
虐待の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・昼食時にドアの前にテーブルを置き、利用者が居室から出ないようにした。 ・利用者の夜間のトイレ利用を制限し、オムツに排泄するよう促した ・居室の空調設備を職員が管理し利用者が自由に調整できないようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の利用者の居室の外から施錠を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事介助が必要な利用者に朝食の提供を行わない日があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な手続きを経ずにミトンを使用した。 ・夜間のナースコール対応時に利用者に暴言を吐いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・興奮した利用者を強引に引っ張り、指に怪我を負わせた、その際に利用者へ暴言も吐いた。

項目 \ 事案	16	17	18	19	20
施設・事業所のサービス種別	特別養護老人ホーム	特別養護老人ホーム	特別養護老人ホーム	特別養護老人ホーム	特別養護老人ホーム
被虐待者の状況	90代女性 要介護4	80代男性 要介護4	90代男性 要介護4 80代女性 要介護5 90代女性 要介護5 80代女性 要介護5 50代女性 要介護3	90代女性 要介護3	80代女性 要介護4 90代男性 要介護4 70代女性 要介護4 80代女性 要介護3 80代女性 要介護1 80代男性 要介護3
虐待の種別	身体的虐待	介護等放棄 心理的虐待	介護等放棄 心理的虐待	身体的虐待	身体的虐待 心理的虐待
虐待を行った従事者の職種	介護職員	特定困難	施設長 その他特定困難	介護職員	介護職員
市町村が行った措置	施設等に対する指導、改善計画の提出	施設等に対する指導、改善計画の提出	施設等に対する指導、改善計画の提出	施設等に対する指導、改善計画の提出	施設等に対する指導、改善計画の提出
虐待の内容	・頻回に立とうとする利用者が車椅子から立ち上がろうとした際に立てないよう車椅子に押し付けた。	・利用者からオムツ交換の要望があっても、交換時間まで対応しなかった。 ・ナースコールを複数回押した利用者に暴言を吐いた。	・ナースコールを利用者が使用できない位置に置いた。 ・利用者を「ちゃんづけ」して呼んでいた。	・介助中に利用者から介助拒否の言葉を受け、利用者の左頬をつねった。	・立ち上がりかけた利用者に対して、頭を強く押さえ、車椅子に座らせた。 ・夜間帯、興奮状態の利用者の頭や肩をベッドに押さえつけた。 ・利用者に暴言を吐いた。

項目 \ 事案	21	22	23	24	25
施設・事業所のサービス種別	特別養護老人ホーム	特別養護老人ホーム	短期入所生活介護	短期入所生活介護	短期入所生活介護
被虐待者の状況	80代女性 要介護5	100歳以上女性 要支援2	90代男性 要介護3	80代女性 要介護4	90代女性 要介護4
虐待の種別	性的虐待	心理的虐待	身体的虐待	介護等放棄 心理的虐待	身体的虐待
虐待を行った従事者の職種	介護職員	特定困難	作業療法士	介護職員	介護職員
市町村が行った措置	施設等に対する指導、改善計画の提出	施設等に対する指導、改善計画の提出	施設等に対する指導、改善計画の提出	施設等に対する指導、改善計画の提出	施設等に対する指導、改善計画の提出
虐待の内容	・利用者に頬ずりするなどの身体的接触をした。	・利用者に大声、荒い口調で話しかけた。	・不穏状態で暴れている利用者の手首を掴み、内出血を負わせた。	・ナースコールを利用者が使用できない位置に置いた。 ・利用者のトイレ誘導の要望を複数回拒否した。 ・利用者に暴言を吐いた。	・上半身を起こしている利用者をベッドに押さえつけた。

事案 項目	26	27	28	29	30
施設・事業所のサービス種別	短期入所生活介護	介護老人保健施設	介護老人保健施設	認知症対応型共同生活介護	通所介護(お泊りデイ)
被虐待者の状況	90代女性 要介護4	80代女性 要介護5	60代男性 要介護4	80代女性 要介護1	90代女性 要介護3
虐待の種別	身体的虐待	身体的虐待 介護等放棄	性的虐待	心理的虐待	介護等放棄 心理的虐待
虐待を行った従事者の職種	介護職員	介護職員 看護職員	特定困難	介護職員	管理者
市町村が行った措置	施設等に対する指導、改善計画の提出	施設等に対する指導、改善計画の提出	施設等に対する指導、改善計画の提出	施設等に対する指導、改善計画の提出	施設等に対する指導、改善計画の提出
虐待の内容	<ul style="list-style-type: none"> お茶をこぼした利用者の左腰上部を数回手で小突いた。 	<ul style="list-style-type: none"> 徘徊する利用者が居室から出られないよう、利用者のベッドを四点柵で囲んだり、ドアノブを紐で巻いて固定した。 便触りや異食を防ぐため、利用者のズボンを脱げないようにしていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 治療を行っていた右足底部の状況写真を利用者が裸の状態で撮影した。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員間で特定の利用者をイニシャルで呼ぶことが常態化し、利用者にも聞こえる場面があった。 	<ul style="list-style-type: none"> 発熱のあった利用者に対し、適切な対応(受診、家族への連絡等)ができていなかった。 害虫の発生に対し、適切な対応がとられていなかった。 利用者を「ちゃんづけ」で呼んでいた。

2 養護者による高齢者虐待の状況

(1) 相談・通報・届出件数

県内全市町村で1,356件

(2) 相談・通報者（重複あり）

区 分	人数	割合(%)
介護支援専門員（ケアマネジャー）	453	32.3
介護保険事業所職員	84	6.0
医療機関従事者	85	6.1
近隣住民・知人	42	3.0
民生委員	40	2.8
被虐待者本人	77	5.5
家族・親族	134	9.5
虐待者自身	26	1.9
当該市町村行政職員	60	4.3
警察	315	22.4
その他	85	6.1
不明（匿名を含む）	3	0.2
合計	1,404	100.0

(注) 相談・通報者には重複があるため、内訳の合計は相談・通報・届出件数1,356件と一致しない。

(3) 事実確認の状況

区 分	件 数	割合(%)
事実確認調査を行った事例	1,326	94.0
立入調査以外の方法により調査を行った事例	1,325	93.9
訪問調査を行った事例	1,013	71.8
関係者からの情報収集のみで調査を行った事例	312	22.1
立入調査により調査を行った事例	1	0.1
警察が同行した事例	1	0.1
援助要請をしなかった事例	0	0.0
事実確認調査を行っていない事例	85	6.0
相談・通報を受理した段階で、明らかに虐待ではなく事実確認調査不要と判断した事例	72	5.1
相談・通報を受理し、後日、事実確認調査を予定している又は事実確認調査の可否を検討中の事例	13	0.9
合 計	1,411	100.0

(注) 事実確認の状況には、令和4年度以前に通報があったもののうち、令和5年度にかけて事実確認調査を行った55件を含むため、合計件数は令和5年度の相談・通報件数1,356件と一致しない。

(4) 事実確認調査の結果

区 分	件 数	割合(%)
虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例	512	38.6
虐待ではないと判断した事例	454	34.2
虐待の判断に至らなかった事例	360	27.1
合 計	1,326	100.0

(5) 虐待の種別（複数回答）

区 分	身体的虐待	介護等放棄	心理的虐待	性的虐待	経済的虐待
件 数	363	86	181	2	80
割合(%)	69.7	16.5	34.7	0.4	15.4

福岡県内の虐待件数等の推移

1. 養介護施設従事者等による虐待

※養介護施設従事者等：老人福祉法及び介護保険法に規定する「養介護施設」又は「養介護事業」の業務に従事する者

年度	相談・通報 対応件数 (注1)				
		事実確認を 行った件数 (注2)	虐待と判断 したもの	虐待ではな いと判断し たもの	虐待の判断 に至らなか ったもの
令和5	85件	81件	30件	32件	19件
令和4	81件	73件	27件	31件	15件
令和3	77件	79件	27件	32件	20件

注1：当該年度中に相談・通報を受理したもの

注2：当該年度中に相談・通報を受理し、事実確認を行ったもの及び前年度以前に相談・通報を受理し、事実確認が当該年度となったもの

- 虐待と判断した30件の施設・事業所のサービス種別は、有料老人ホーム12件、特別養護老人ホーム10件、短期入所施設4件、介護老人保健施設2件、認知症高齢者グループホーム（認知症対応型共同生活介護）1件、通所介護1件である。
- 虐待の種別（複数回答有）は、身体的虐待17件、心理的虐待11件、介護・世話の放棄・放任9件、性的虐待3件、経済的虐待1件である。

2. 養護者による虐待

※養護者：高齢者を現に養護している者であって、養介護施設従事者等以外の者

年度	相談・通報 対応件数 (注1)				
		事実確認を 行った件数 (注2)	虐待と判断 したもの	虐待ではな いと判断し たもの	虐待の判断 に至らなか ったもの
令和5	1,356件	1,326件	512件	454件	360件
令和4	1,211件	1,169件	506件	313件	350件
令和3	1,017件	994件	445件	282件	267件

注1：当該年度中に相談・通報を受理したもの

注2：当該年度中に相談・通報を受理し、事実確認を行ったもの及び前年度以前に相談・通報を受理し、事実確認が当該年度となったもの

- 虐待と判断した512件の虐待の種別（複数回答有）は、身体的虐待363件、心理的虐待181件、介護・世話の放棄・放任86件、経済的虐待80件、性的虐待2件である。